

CHIBUNEXT 005 号 2024.3
 社会医療法人愛仁会 千船病院
 大阪市西淀川区福町3丁目2-39
 TEL 06-6471-9541

食道内圧計を導入しました

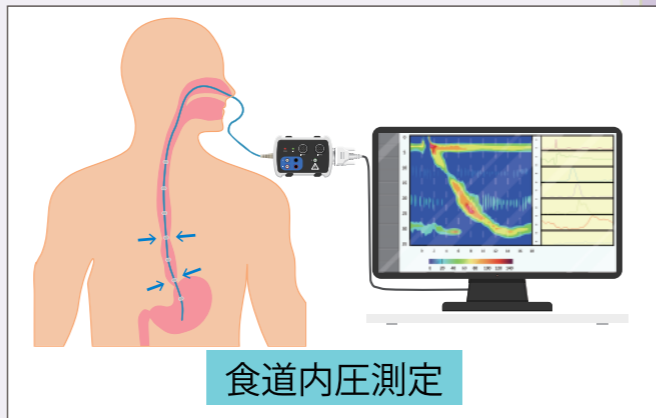
胸焼けや胸のつかえ感などで困りではないでしょうか？最近では食道に胃酸が逆流する逆流性食道炎が増えていますが、内服治療をしても症状が改善しない方もおられます。その場合、実は胃酸の逆流があまりない機能的胸焼けや、食道に食事が停滞する食道アカラシアなど、別の疾患の可能性がありえます。それらを鑑別するためには食道機能検査が必要で、食道機能検査には24時間pHインピーダンス検査と食道内圧測定があります。当院では以前からインピーダンス検査を行っていますが、今回新たに食道内圧計を導入しました。

その症状、本当に胃酸の逆流が原因ですか？

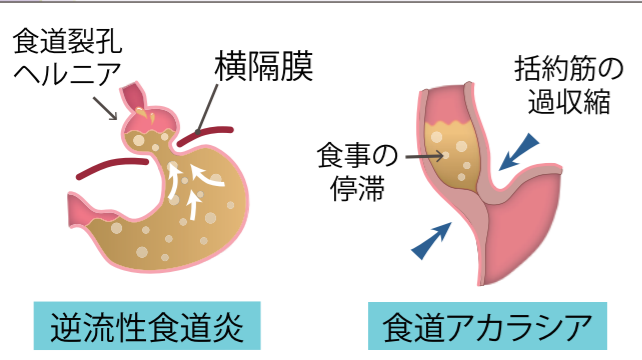


食道内圧測定検査は圧センサーがついた太さ4mmのカテーテルを鼻から胃まで挿入し、その状態で水を飲んでいただきます。水が食道から胃まで流れる際の食道の動きを測定します。この検査は食道の動きが悪くなる食道アカラシアの診断や、逆流性食道炎の手術前の食道運動の評価にも有用です。カテーテル挿入時や水を飲んでいただく際にえづきが出る場合があります。

食道内圧測定検査とは？



胸焼けなどの症状に悩まされる方は増えていますが、病態を正確に評価できる食道内圧測定とインピーダンス検査をどちらも施行できる専門施設はわずかしかありません。当院では4月より専門医師を迎え、食道疾患の専門診療に取り組んでいきますので、胸焼けや胸のつかえ感でお困りの方は、気軽に当院消化器内科へご相談ください。



千船病院連携医療機関

当院は地域医療支援病院として、開業医の先生方と相互に協力・連携を図り、患者様が安心と満足を得られる医療を提供できるよう、サポートしています。



小林診療所

☎06-6472-0212

📍西淀川区姫島5-10-29

医師名 小林 秀彦 先生

【診療科目】内科、循環器内科

【ホームページ】

https://nishiyodo-med.or.jp/medical_institution/kobayashi/



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	●	●	●	●	●	●
16:00~19:00	●	●		●	●	



山田クリニック

☎06-4808-8817

📍西淀川区 姫島5-1-20

医師名 山田 和生 先生

【診療科目】内科、循環器内科

【ホームページ】

https://nishiyodo-med.or.jp/medical_institution/yamada/



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●
16:00~19:00	●		●		●	



金井整形外科

☎06-6477-1333

📍西淀川区姫島6-1-19

医師名 金井 秀彰 先生

【診療科目】整形外科、外科、
リハビリテーション科、
リウマチ科

【ホームページ】

https://nishiyodo-med.or.jp/medical_institution/kanaiseikei/



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:00	●	●	●	●	●	●
16:30~19:30	●	●	●		●	

EXPO2025 大阪・関西万博への千船病院の出展が内定！

千船病院は、EXPO 2025 大阪・関西万博のプロジェクトの一つである「共創チャレンジ」に、「イネープリングシティー西淀川区プロジェクト」を登録して2022年より活動を行ってまいりました。

「イネープリングシティー西淀川区プロジェクト」とは、千船病院と西淀川区、関係企業とが協働し、幸福と健康が両立するまちを目指すプロジェクトです。具体的には、福ハッピーフェスタなどのイベント開催をはじめとする様々な地域活動を行っています。

その成果が認められ、この度、大阪・関西万博への出展が内定しました！

「能登半島の妊婦さんと赤ちゃんを守る。」

2024年1月1日に能登半島で大きな地震が起き、多くの被害が発生しました。停電、断水のため病院も通常診療ができない状態となっていました。七尾市にある恵寿総合病院では、発災直後から妊婦さんの安否確認、安全な場所への移動を指示するなど不眠不休で産婦人科スタッフが対応していました。



ご家族の事情がある方や病院で働くスタッフなど、妊娠中でもすぐには避難できない方もおられ、災害ストレスや無理をして調子が悪くなる方もおられます。

私はNPO 法人災害人道医療支援会（HuMA）の一員として、恵寿総合病院に支援に入りました。地震後1週間以上帰宅できないまま対応している産婦人科医師のかわりに病院に泊まりこみ、お産の対応や安否確認の続き、電話相談などの対応を行いました。地震後初めて帰宅できました、という先生方の声や、相談できて安心しましたという妊婦さんの声を聞くことができました。



当院からは、他にも診療部より1名、看護部より2名、技術部リハビリテーション科より1名、薬剤科より1名、事務部より1名のスタッフが被災地での活動を行いました（今後の予定を含む）。



救急診療部 医長
日本救急医学会専門医
日本産科婦人科学会専門医
山下 公子



小児科医員
井上 翔太



「花粉症」の季節到来

先日、新聞紙面に掲載されたコラムから印象に残った川柳を紹介したいと思います。

（ポケットの最後の一枚命綱）。こちらは「花粉川柳コレクション」（講談社）から引用された一句です。今の時期、ピンときた方も多いのではないでしょうか。

日差しは春の訪れを感じる頃となり、メディアでも話題に上がることが増えてきた「花粉症」の季節到来です。スギ花粉やヒノキ花粉、近年では大人ばかりでなく子どもの発症も目立つようになりました。今や「国民病」とも言われ、一説には2人に1人は

花粉症とのことです。CHIBU NEXTを手に取られたのであれば、ご自身の体調管理に関心を持たれている方も多いかと思えます。花粉症の方も、そうでない方も一緒に対策を考えていきましょう。

ポケットの中の「命綱」

かくいう私も、自分自身が花粉症と自覚したのはここ数年になります。それまでは、出かける際に財布や携帯電話は確認しても、「命綱」を確認することは、あまりありませんでした。

それを改めるきっかけとなったのは、映画館でした。映画とは各々がその時間・空間に没頭でき、疑似体験できる素晴らしいものですが、当日はどうやら鼻がむずむず、うっかり何か口に入れようものならそのままくしゃみと相まって周りの注目を浴びかねない様子でした。映画そっちのけで、ポケットをあちこち探してみると、いつから眠っていたのかシワの入った最後の一枚。大事に大事に使いながら、映画の大音量

シーンに合わせ、大発声した次第です。それ以来、職場の机にはボックスティッシュ、カバンにはポケットティッシュが相方となりました。皆様には、同じ目に遭わぬよう、日常生活で心がけた「いちよつとしたコツ」をお伝えします。

1 お出かけ前に花粉情報のチェック

花粉症の大半を占めるスギやヒノキ、花粉の飛散量は、日によっても時間帯によっても変化します（ウェザーニューズ等の花粉情報サイトからリアルタイムで把握可能）。環境省は本年より飛散量ラックを4段階から5段階に改定し、最上位の場合には、外出を避け、テレワークを推奨としています。

2 使い心地のいいマスク、メガネで防御する

空気中に舞う花粉を吸い込んだり、付着させないようにすれば、症状は出にくくなります。ウイズコロナ、アフターコロナで自分に

3 部屋に持ち込まない、家族の協力も必要

花粉が多く飛んでいる時期には、室内にも花粉は入りやすいです。例えば、家族で帰宅時の導線を決めておくことも対策になります。窓の換気は飛散量の少ない時間帯、洗濯は部屋干しや乾燥機の使用、空気清浄機の設置も有効です。意外かもしれませんが、室内でもっとも花粉が多く存在しているのは床面なので、朝のうち濡れた布等で拭き取っておくと再び舞うことはありません。



最後に... 症状に合わせた治療を選択しましょう

今回のお話はここまでです。上記の対策で日常生活を快適に過ごしていたら幸いです。実はこれらは花粉症対策の一部に過ぎません。これだけでは限界があり、症状が強い時には、やはり薬の助けが必要です。症状を出にくくしたり、つらい症状をやわらげたりする薬には様々なタイプがあります。また、近年では、大人も子どもも免疫療法という根本的な治療法も行えるようになってきました。症状に合った薬を適切なタイミングで使うことが、最小限の薬で症状をコントロールする秘訣です。当院の小児科でもアレルギーに関する治療を行っておりますので、詳しく知りたいという方は、まずはかかりつけ医に相談してみてくださいいかがでしょうか。

